



**TMT
GEAR**

東京芸術劇場：TMTギア — 東京芸術劇場クリエイター支援プロジェクト

目的・目標

- ・若手クリエイターの育成と、制作・技術スタッフの専門性の強化を推進する
- ・映像メディアを活用し、作品・公演の可視化と発信、体系的なアーカイブの構築を行う
- ・持続可能な国際共同制作のプラットフォームを構築する
- ・劇場を「上演・展示の場」から、創造的な実験と対話が生まれる「クリエイションの場」へと進化させる
- ・次世代の舞台芸術を世界へ発信する創造拠点となる

概要

世界で活躍するクリエイターの育成と、それを支える劇場スタッフの専門性強化を通じ、日本の現代舞台芸術を国際的に発信する拠点機能の強化を目指すプロジェクト。

令和8年4月より芸術監督に就任した岡田利規・山田和樹が、グローバルに活躍する表現者としてのネットワークを生かし、次世代人材の育成にメンターとして取り組む。

国際経験豊かな劇場職員と連携し、有望な若手クリエイターおよびスタッフを選抜。作品創作から国内外への発信までを、オンジョブトレーニングとメンタリングで一貫して支援する。

この取組を数年間継続し、持続的に世界へ発信する創造拠点としての機能構築を図る。

TMTギアは、次代のクリエイターが未来を切り拓くための《ギア = 装置》を見出し、身につける場となることを目指す。

成果目標

目標値

実績値（見込）

文化施設の公演活動に対する専門誌・専門家・批評家等による評価数（高評価）	6件	6件
デジタル作品（デジタル・アーカイブを含む）の発信数	10件	10件
国内公演における、海外のプロデューサー、フェスティバルディレクター等の来場者	12人	12人



舞台芸術部門アドバイザー



岡田利規舞台芸術部門芸術監督
演劇作家、演出家、小説家

音楽部門アドバイザー



山田和樹音楽部門芸術監督
指揮者

育成対象者（15人）

◎ パフォーミングアーツ分野

額田大志 山崎阿弥

◎ 音楽分野

長瀬善則 布施砂丘彦 吉野良祐

◎ 映像メディアチーム

近藤圭真 松本 桂
銀色なつみ 齋藤千春

◎ インハウススタッフ

パフォーミングアーツ 吉田直美 黒田 忍
音 楽 前久保 諒 山下直弥
舞台技術 行方太一 松島千裕

令和6年度実績

育成対象者の選出、リサーチ、ネットワークの拡充

1. パフォーミングアーツ分野育成クリエイターの選出

2. 音楽分野育成クリエイターの選出

3. 育成インハウススタッフの選出

企画に伴走し、環境整備を担う劇場プロデューサー、海外公演を支える技術力をもった劇場技術スタッフを館内より募り選定

適切な評価獲得のためのマーケティングや、国際的なアート・マーケットへのリーチを研究し、海外事例の視察やネットワーク形成の計画立案

4. クリエイションと海外公演に向けたリサーチ

育成対象スタッフが、海外フェスティバルや見本市、コンサートホール、劇場の調査・視察の実施

5. 映像メディアチームのモデル検証とチーム編成

映像ディレクター2名、ビデオグラファー2名による映像メディアチームを編成

令和7年度実績

- 令和6年度に選出された育成クリエイターらが具体的な活動を開始
- 国際的な活動に必要な知識・経験の蓄積および人的ネットワークの拡充
- 令和8年度に上演予定の公演制作に向けた調査・検討を進めるとともに、各クリエイターとも公演内容を具体化するためのワーク・イン・プログレスを開始
- 国際共同制作の現場参加による実践的育成
- 映像メディア・音楽・パフォーミングアーツの分野横断的な展開のために必要な「制作・記録・発信」を一体化したプロジェクト推進を検討
- 公演制作への具体的な接続（オーディション、創作に向けてのプランニング）



令和7年度実績

インハウススタッフの育成

- 5月～6月 舞台芸術スタッフ2名、舞台技術スタッフ2名が国際共同制作「ヨナ」シビウでのクリエイション及び欧州公演においてオン・ジョブ・トレーニングを実施
- 6月 K-Musical Market等（韓国）舞台芸術スタッフ1名が視察
演劇専門展示会等（ロンドン）を舞台芸術スタッフ1名が視察
海外カンパニー（ギリシャ）と舞台芸術スタッフ1名が打合せ・交渉
- 7月 マンチェスター国際フェスティバル（英国）にインハウス指導者が参加し海外ディレクター・プレゼンターとコネクション形成
- 11～12月 パリにて、パリ管弦楽団及びフィルハーモニー・ド・パリのディレクターと音楽スタッフ1名が打合せ
- 12月 舞台技術の見本市LDI（ラスベガス）等を舞台技術スタッフ1名が視察
YPAMでのクリエイター支援基金のシンポジウムにインハウス指導者が登壇
- 1月 ISPA（International Society for the Performing Arts）NY総会に参加し
舞台芸術スタッフ1名が海外ディレクター・プロデューサーとコネクション形成

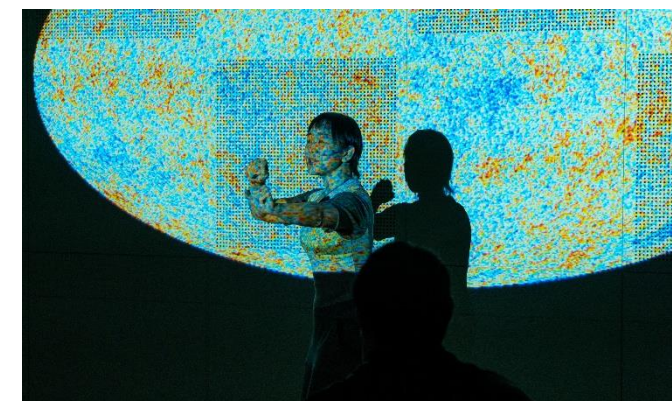
令和7年度実績

パフォーマンス分野：ワーク・イン・プログレスの展開

- 額田大志** 8月 エジンバラ国際演劇フェスティバル 視察
10月 舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」にて海外ディレクター・プレゼンターへ企画プレゼン会実施
1月 令和8年度公演の出演者オーディションを兼ねたワークショップを開催
3月 WIPとして出演者ワークショップと上演を実施



- 山崎阿弥** 10月 舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」にて海外ディレクター・プレゼンターへ企画プレゼン会実施
2月 オープンラボのためのリハーサル
3月 令和8年度の試演会に向けてのオープンラボ開催



令和7年度実績

音楽分野：ワーク・イン・プログレスの展開

- | | | | |
|-------|-----|---------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 長瀬善則 | 6月 | インドネシア／バリ島 | ガムラン音楽の伝統と哲学に関するリサーチ |
| | 7月 | インド | 南インドの音楽文化（カルナータカ音楽、ラガ、コナッコル）に関するリサーチ |
| | 11月 | 軽井沢にて | クリエイション |
| | 12月 | | 「YPAMエクスチェンジ2025」にて企画プレゼン |
| 布施砂丘彦 | 8月 | | WIPを実施 「まがとき実験屋上第1話」映像撮影 |
| | 9月 | ギリシャ・フランス | 欧州の劇場の地理的な条件及び劇場建築に関するリサーチ |
| | 10月 | インドネシア（ジャカルタ・ジョグジャカルタ・ソロ） | ガムラン・影絵に関するリサーチ |
| | 12月 | | 「YPAMエクスチェンジ2025」にて企画プレゼン
映像作品第一弾を12月に公開（3/24時点：再生数341回） |
| 吉野良祐 | 2月 | | WIPを実施 映像作品第二弾の撮影 |
| | 8月 | | 三鷹天命反転住宅での滞在制作により、プロジェクト参加アーティスト相互の基盤構築 |
| | 3月 | | 令和8年度公演に向けた出演者オーディション実施
オーストリア（ウィーン）にて現代オペラの動向等に関するリサーチ |

令和7年度実績

音楽分野：ワーク・イン・プログレスの展開

3月 「クリエイション・レポート」(中間報告展示+発表) 開催

長瀬善則、布施砂丘彦、吉野良祐(音楽アート・クリエイター)の3人が、令和7年度実施したそれぞれのクリエイション、リサーチを展示形式で公開。展示初日に「中間報告会」として、令和8年度に予定している公演開催に向けて、進捗を報告。



令和7年度実績

映像メディアチーム① 国際共同制作でのOJT

- ・国際共同制作「ヨナ」シビウ公演に参加し、記録映像収録のオン・ジョブ・トレーニングを実施

成果

- ・計7本の映像を制作東京公演の広報素材として活用
- ・うち1本は短編ドキュメンタリー映画祭へ出品準備中



令和7年度実績

映像メディアチーム② 8K映像と技術研修

- ・8K映像収録技術と映像アーカイブに関する専門研修
- ・国際共同制作「ヨナ」東京公演で8K収録を実施
- ・今後高精細記録映像を活用した新たな事業展開の推進



令和7年度実績

映像メディアチーム③ 制作・研修・振り返り

- ・TMTギア・芸劇・クリエイター紹介映像、「まがとき実験屋上」（布施砂丘彦W.I.P映像作品）など計8本の映像作品を制作
- ・チーム全体：EPAD舞台芸術アーカイブ講座をオンライン受講
- ・インハウス指導者による個別ヒアリング→ 年度振り返りと令和8年度に向けた課題整理



令和8年度活動予定

- | | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月 | インハウススタッフ ドイツ・ハノーファー州立劇場 岡田利規作・演出「新作公演」でのリサーチ |
| 6月～8月 | 映像チーム 岡田利規作・演出「映画を撮りたいゾンビの演劇」 稽古から本番までの映像収録およびSNS等での広報展開およびアーカイブ記録の実践
インハウススタッフ 同公演の制作およびプロダクションマネージャーを担当
将来的な海外公演を見据えた準備とネットワークの構築を図る |
| 6月～11月 | 額田大志新作公演において、WIP、稽古、本番に映像チームが伴走し、映像を活用した広報展開と海外公演に向けてのプロモーション・アーカイブ映像の制作 |
| 1月～2月 | 音楽部門育成者3名のWIPとリハ・公演に伴走し、映像を活用した広報展開と海外公演に向けてのプロモーション・アーカイブ映像の制作 |
| 1月～3月 | 山崎阿弥のWIPとショーケース上演に映像チームが伴走し国内公演に向けてのプロモーション及びアーカイブ映像の制作 |
| 2月 | YPAMにて、制作したプロモーション映像を活用し、海外公演などのプレゼンテーション活動 |

今後の見込み

【令和6年度～8年度の成果による今後の見込み】

- (1) 国内公演の実績をもとにした地方公演および海外公演に向けてのプロモーション
- (2) 国内公演作品の海外上演に向けた上演地の言語対応など。
- (3) 国内外の劇場関係者や招聘プロデューサーとのネットワーク構築
- (4) プロモーションの成果として地方公演及び海外公演の実践

今後の見込み

【映像プロジェクト】

（１）映像・写真を中心とした劇場としての記録アーカイブに関する研究・リサーチと制度設計

チラシ・ポスター・写真・映像等による劇場としての記録アーカイブに関するリサーチ

映像記録を中心としたドキュメンテーションの実践

（２）記録映像を活用した広報活動および映像事業の開発と実践

地方公演や海外公演の実施に向けての映像を活用したプロモーション

国内外の見本市や海外フェスティバルでのショーケース上映

多摩島しょ地域や上演が困難な地域での映像上映による地域による芸術体験格差の解消